

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000201
事業所名	グループホーム一色

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会へ参加している。町内会長や民生委員が運営推進会議で事業所を訪れるので、地域情報をそこから得ている。すぐ近くに保育園が開園し、災害時の避難での連携を話し合っている。また園児の様子を利用者が見ることができ、笑顔が見られる。体調、時間などがあれば地域清掃に利用者職員とで参加をしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	町内会長、民生委員、いきいき支援センター職員などの参加を得て二カ月ごとに会議が開催されている。事業所の現状などが尋ねられ、運営情報や現時点の様子を知ってもらう機会としている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	いきいき支援センター主催の研修に参加している。生活保護者の受け入れで、保護課やいきいき支援センターとの連絡は密にとられている。また、成年後見制度を使わず利用者の金銭的負担が少なくすむよう区と相談しながら入居につなげた例もある。今年度重なる台風の襲来で、避難勧告が出たときに区に相談し、勧告ではなく避難指示での避難をするよう説明をうけた。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	スマートフォンのLINEを昨年度から活用し、今年度も利用者家族との連絡に使っている。それとは別にホーム便りを家族へ送付している。家族が来所した時には必ず職員が要望や意見を聞くようにしており、寝具の入れ替えなど出された要望はできることから取り組んでいる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	—	○	×	×	×	○	○	○	